

伊集院保健所感染症情報

2026年第8週（令和8年2月16日～令和8年2月22日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿兒島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿兒島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿兒島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ， 伝染性紅斑

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID），小児科1，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第5週	第6週	第7週	第8週	先週からの増減	第7週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	159.00	222.50	176.00	174.50	↘	100.02	↘
インフルエンザ	30	10	10	54.50	139.00	126.50	96.50	↘	62.12	↘
COVID-19	—	—	—	0.50	0.50	0.00	0.00	→	0.39	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	1.00	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	9.00	5.00	8.00	3.00	↘	2.16	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	11.00	7.00	4.00	8.00	↗	7.32	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.32	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
伝染性紅斑	2	1	—	3.00	1.00	1.00	1.00	→	0.39	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.19	→
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	1.00	0.00	3.00	0.00	↘	0.90	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC 3/1（日）から3/7（土）は「子ども予防接種週間」です。

令和8年3月1日（日）から3月7日（土）までの7日間は「子ども予防接種週間」です。

4月からの入園・入学に備えて必要な予防接種を済ませるために、お子様の接種すべきワクチンの種類や時期を母子手帳で確認しましょう。

年長児（小学校就学1年前）は、定期予防接種の麻しん風しん（MR）ワクチン2期の対象児となっています。

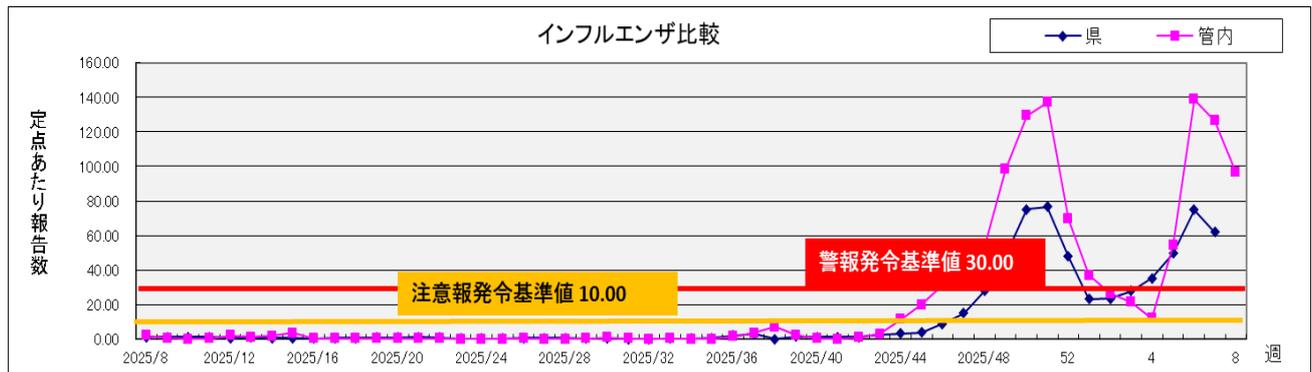
未接種者・未罹患者（抗体価検査等で感染を確認された者を除く）に対し、令和8年3月までにMRワクチンの接種を受けるよう、保育園・幼稚園においては、接種勧奨に御協力をお願いします。

予防接種は、赤ちゃんがお母さんから受け継いだ免疫が薄れてくる時期、病気にかかりやすい年齢や重症化しやすい年齢などに応じて接種する必要があります。予防接種法に基づく定期接種は、病気ごとに定められた接種期間がありますので、適切な期間に忘れないように接種することが大切です。



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）

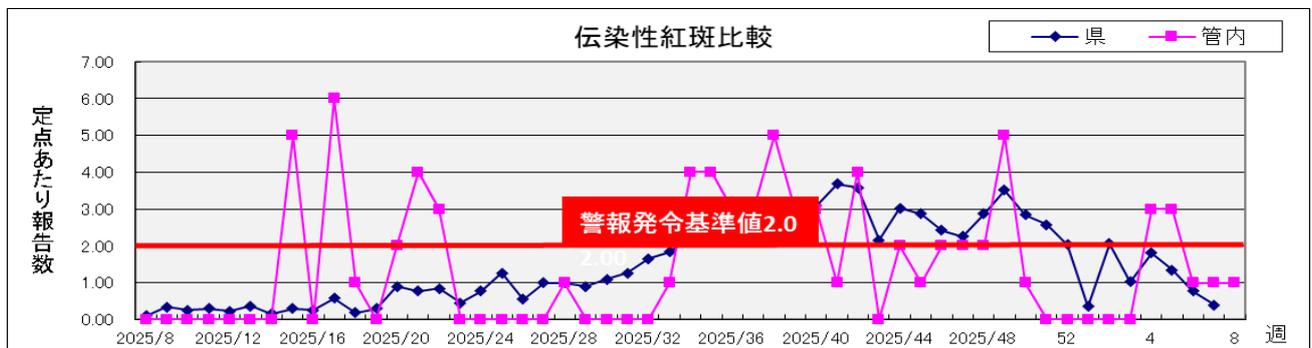


第8週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、7週の253人（定点当たり126.50）から60人少ない、193人（定点当たり96.50）です。年齢別では、10～14歳（48人）、9歳（27人）、5歳（19人）、7歳（17人）、8歳（16人）、3歳（14人）、4歳（12人）、2歳・6歳（各11人）、1歳（5人）、15～19歳（4人）、6ヵ月～11ヵ月・50～59歳・70～79歳（各2人）、30～39歳・40～49歳・60～69歳（各1人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第8週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、8歳（1人）定点当たり1.00でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう

○学校における感染症による出席停止の状況2/16～2/22（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが176人（型不明137人、B型39人）、感染性胃腸炎2人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎1人、COVID-19が1人報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	感染性胃腸炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	新型コロナウイルス感染症
日置市		113	0	26	2	1	0
いちき串木野市		24	0	13	0	0	1
三島村		0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0
計		137	0	39	2	1	1